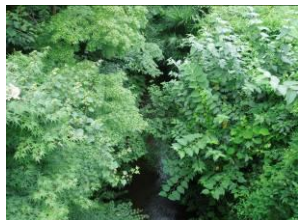


1、全体

連日の猛暑の為、日中を避け早朝にパトロールを実施する。上水の草木は深緑になり上水の水が見えないほどの繁り様であった。前回(6月7日)のパトロール時に気になった茜屋橋にもたれかかった枝は歩行者の邪魔にならない程度に処置されていた。しかし貫井橋東右岸より左岸法面に倒れた楓の樹はそのまま未処置であった。



小金井橋西上流



貫井橋東下流 倒木楓



茜屋橋東下流



2、桜樹

小金井橋東、右岸の中咲き標本木 No.864 の樹勢が著しく衰えていた。小金井橋修復工事で根に負担がかかったのと枝葉が強剪定されたりしたのが影響したのだろうか。なんとか持ち直して欲しいものだ。

中咲き標本木 No.864(ヤマザクラ)→



3、緑道



上水は右岸も左岸も歩道が綺麗に整備されていた。右岸の側道生垣も綺麗に刈られていた。小金井橋西右岸 No.867 の緑道、上水柵外に朝顔が 34 株植えられていた。深く掘られている為、緑道の端を歩くには危ない。朝顔だからせめて土を埋め戻すか、柵内に植えれば良いのに思う。まあ、柵内は上水の植物保護で禁じられているが、緑道なら赦されるのだろうか？



34 株の朝顔→



4、柵内の植物



5、その他

古木で倒木の危険があると伐採された No.231(ヤマザクラ)にヒコバエが沢山生えて喜んでいましたがなんと緑道整備の一環で刈り取られてしまった。ただ、下の方に横に生えていた枝は機械では刈り取り難かったのか辛うじて残っていた。根性ヒコバエとして育ってくれる事を願う。



No.231 の切り株から生えたヒコバエの残り枝

5月14日時点の No.231